



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日
東・福

上場会社名 FIG株式会社 上場取引所
 コード番号 4392 URL <http://www.figinc.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 岐部 和久 (TEL) 097-576-8730
 社長室長
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,993	18.8	200	—	210	—	132	—
2020年12月期第1四半期	2,518	△6.9	△60	—	△37	—	△166	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 188百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △157百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	4.53	4.46
2020年12月期第1四半期	△5.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	15,884	8,359	51.7
2020年12月期	15,294	8,311	53.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 8,211百万円 2020年12月期 8,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.4	500	—	468	—	294	73.8	10.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 1 Q	31,084,515株	2020年12月期	31,084,515株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	1,918,270株	2020年12月期	1,918,220株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 1 Q	29,166,277株	2020年12月期 1 Q	28,766,343株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,993百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は200百万円（前年同期は60百万円の営業損失）、経常利益は210百万円（前年同期は37百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は132百万円（前年同期は166百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は受けておりますが、情報通信事業はストックビジネスの拡大により業績好調を維持し、業績不振が続いていた装置等関連事業についても業績回復の兆しが見えてまいりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 情報通信事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主力顧客（タクシー・バス・物流・ホテルの事業者）のうち、タクシー・バス事業者が乗客減少とホテル事業者が宿泊客減少の影響を受けております。しかしながら、月額定額制によるストックビジネスの基盤拡大と、得意とする公共交通を中心としたペイメントサービスが好調に推移しました。

この結果、外部顧客への売上高は1,870百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は296百万円（同65.1%増）となりました。

② 装置等関連事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響等により業績不振が続いておりましたが、受注ベースでは回復基調であり、利益面においても工程管理と原価管理や工場稼働率の改善を徹底してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は1,122百万円（同21.9%増）、営業利益は47百万円（前年同期は114百万円の営業損失）となりました。

③ 新規事業

前連結会計年度より、当社の連結子会社である株式会社石井工作研究所において賃貸用マンションの建設を着工したことに伴い、前連結会計年度末より当該不動産賃貸事業を「新規事業」として報告セグメントに新たに追加しております。

「新規事業」は、主にマンション等の不動産賃貸事業であり、本書提出日現在においては該当の賃貸用マンションを建設中の為、当第1四半期連結累計期間における収益計上はありませんが、経費が先行して計上されたことにより営業損失は1百万円（前年同期は計上なし）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、15,884百万円となり、前連結会計年度末と比べ589百万円増加しました。これは主に現金及び預金が568百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が498百万円増加したこと及びたな卸資産が399百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、7,524百万円となり、前連結会計年度末と比べ541百万円増加しました。これは主に未払法人税等が123百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が535百万円増加したこと及び賞与引当金が163百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、8,359百万円となり、前連結会計年度末と比べ47百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が53百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,341	1,773
受取手形及び売掛金	2,200	2,699
リース投資資産	1,898	1,942
たな卸資産	1,840	2,239
その他	205	180
貸倒引当金	△25	△31
流動資産合計	8,461	8,804
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,709	1,709
その他(純額)	2,496	2,670
有形固定資産合計	4,206	4,379
無形固定資産		
のれん	406	389
その他	446	429
無形固定資産合計	852	819
投資その他の資産		
投資有価証券	574	675
繰延税金資産	135	154
長期未収入金	886	886
その他	192	188
貸倒引当金	△15	△25
投資その他の資産合計	1,774	1,880
固定資産合計	6,833	7,079
資産合計	15,294	15,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	963	1,498
短期借入金	1,625	1,633
1年内償還予定の社債	316	316
1年内返済予定の長期借入金	811	754
未払法人税等	223	100
未払消費税等	83	89
賞与引当金	51	215
製品保証引当金	21	23
その他	628	543
流動負債合計	4,725	5,174
固定負債		
社債	33	33
長期借入金	1,926	2,003
役員退職慰労引当金	78	71
退職給付に係る負債	107	110
繰延税金負債	89	109
その他	22	21
固定負債合計	2,257	2,349
負債合計	6,983	7,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	3,839	3,839
利益剰余金	2,739	2,725
自己株式	△455	△455
株主資本合計	8,123	8,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	99
為替換算調整勘定	△0	2
その他の包括利益累計額合計	44	101
新株予約権	126	131
非支配株主持分	17	16
純資産合計	8,311	8,359
負債純資産合計	15,294	15,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	2,518	2,993
売上原価	1,937	2,134
売上総利益	580	858
販売費及び一般管理費	640	658
営業利益又は営業損失(△)	△60	200
営業外収益		
受取利息	1	0
補助金収入	24	14
その他	2	3
営業外収益合計	28	17
営業外費用		
支払利息	5	7
その他	0	0
営業外費用合計	5	7
経常利益又は経常損失(△)	△37	210
特別損失		
段階取得に係る差損	10	—
投資有価証券評価損	84	—
特別損失合計	94	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△132	210
法人税、住民税及び事業税	64	103
法人税等調整額	△29	△23
法人税等合計	34	79
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△166	130
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△166	132

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△166	130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	53
為替換算調整勘定	0	4
退職給付に係る調整額	20	—
その他の包括利益合計	9	58
四半期包括利益	△157	188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157	189
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限、不要不急の外出やイベントの自粛要請等により、当社グループの情報通信事業においては、サービス提供先であるバスやタクシーの需要減少及び宿泊需要減少の影響を受けております。また、装置等関連事業においても、自動車関連産業の生産調整等の影響により、納品及び検収の遅延や商談の延期が発生しております。

この状況は今後も一定程度継続するものと仮定しており、当連結会計年度末にかけて緩やかに回復していくものと想定しております。当第1四半期連結累計期間における会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計の適用等）についてはこの仮定を加味した予測数値により実施しております。

当社グループは、情報通信事業においてバスやタクシー事業者向け及びホテル事業者向けのサービスを展開しており、定額制システム利用の契約は順調に拡大しているものの、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。また、装置等関連事業においても、商談の延期や、顧客の受入検査体制次第では納品及び検収時期に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	情報通信事業	装置等 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,597	920	2,518	—	2,518
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	30	30	△30	—
計	1,597	951	2,549	△30	2,518
セグメント利益又は損失(△)	179	△114	64	△124	△60

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

InfoTrack Telematics Pte. Ltd及び同社の子会社であるInfoTrack Telematics Pvt. Ltdを連結の範囲に含めたことにより、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントののれんの金額は、「情報通信事業」において208百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	情報通信 事業	装置等 関連事業	新規事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,870	1,122	—	2,993	—	2,993
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	21	—	21	△21	—
計	1,870	1,143	—	3,014	△21	2,993
セグメント利益又は損失(△)	296	47	△1	342	△142	200

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△142百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。